

## W26b 小型 JASMINE の検討状況

矢野太平、郷田直輝、小林行泰、丹羽佳人、田村友範、増本博光、(国立天文台)山田良透(京大理) 對木淳夫、(SE 推進室/JAXA)、宇都宮真、安田 進、佐藤洋一( DE 部門/JAXA)、小柳潤、藤原 謙( ISAS/JAXA)、他、JASMINE-WG

位置天文観測衛星、小型 JASMINE はバルジ領域の星の位置、年周視差、固有運動の測定をおこなう衛星である。来年度に行われる予定である JAXA 宇宙科学研究所の小型科学衛星シリーズ 3 号機へのミッション提案を目指し、検討が進められている。無事採択されれば、2016 年ごろ打上げられる予定となる。

本講演では小型 JASMINE の全体的なシステムの成立性の検討状況を報告する。特に昨年度に観測波長を変更した事に伴い、検出器の仕様変更などをおこなった。それに伴い検出器まわりの熱環境および衛星の姿勢について検討した。さらに迷光対策についての検討状況についても報告する。また、ミッションの達成にクリティカルな課題でインハウスにおいて特に集中的に検討している 3 つの重要課題の検討状況についても報告する。

1.  $10^{-5}$  ピクセルオーダーの星像中心決定、2. 望遠鏡の熱安定性について、3. 望遠鏡指向安定性について  
以上重要検討課題の検討状況と今後の実証実験計画や、開発計画、その他、全体的な開発準備状況を報告する予定である。